

ダイキン工業株式会社



専務執行役員 空調営業本部長
船田 聡 氏

明けましておめでとうございます。2024年は、弊社にとりまして創業100周年を迎える年となります。世界情勢の変化に加えて、エネルギーコストの上昇が、私たちの生活や企業活動に様々な影響を与えております。また、世界的に進むカーボンニュートラルに向けては、国内では2030年度46%削減目標に向け、住宅のZEH化・ビルのZEB化など、脱炭素の取り組みが加速しており、省エネへの意識の高まりや、エネルギーの使い方に変化が見られます。特にヒートポンプを始めとした、弊社が得意とする省エネ技術・提案力の重要性和ニーズが高まっており、この変化をチャンスと捉え、カーボンニュートラル達成に向き合い、製品・開発に注力してまいります。また、マーケット毎でニーズや課題が多様化している中、AI・IOTを活用しお客様と繋がり続けるソリューション提案を行ってまいります。弊社がこれまで培ってきた強みである販売網、商品開発力、供給力なども活かし、常に市場の先を読み、先手先手で新たな発想や思考による挑戦テーマを生み出し、実行してまいります。

【省エネ性と快適性の追求】

住宅用市場では、ZEH住宅化を見据え、設備も含めた住宅の省エネ設計の動きが益々加速すると考えております。家庭用エアコンは、換気しながら温湿度コントロールができる「うるさらX」をはじめとした高効率エアコンで省エネと快適性をご提案致します。また、家庭と環境に優しい高効率型給湯器エコキュートでは、太陽光発電の余剰電力でお湯を沸き上げる「おひさまエコキュート」を重点に、ヒートポンプ式床暖房と共に普及拡大に努めてまいります。業界唯一の屋外空気を除湿・温度調節して室内に給気し空調負荷を低減させる換気システム「サラビア」など、省エネで安心な空気のご提供も行っております。

業務用市場ではカーボンニュートラルと光熱費高騰を背景に、より省エネで環境改善に対応する空調機が求められております。弊社は業務用エアコン「スカイエア FIVE STAR ZEAS」の新モデルを発売しました。運転状況や負荷の変化に応じて細やかに制御することで、省エネや光熱費削減に貢献致します。増加する木造非住宅等のZEB化対応にもこれまで培ったZEBの設計ノウハウを基に提案のご協力をさせていただきます。また、クラウド型空調管理「DK-CONNECT」で機器運転データを活用し、省エネ制御・設備管理・保守等のサービスもご提供致します。このようにIOTも活用し、次の更新時期までお客様と繋がり続けるサービスをご提供してまいります。



うるさらX



10年まかせられる10個の理由

① 節電自動

② さらら除湿

③ 無給水加湿
(うるる加湿)

④ 換気
(給気換気/排気換気)

詳しくはコチラ





ダイキン工業株式会社 空調営業本部
ダイキンエアコンホームページ
<https://www.ac.daikin.co.jp/kabekake>

ダイキンコンタクトセンター お客様総合窓口

お電話からフリーダイヤル **0120-881-081**

大建工業株式会社



代表取締役 社長執行役員
億田 正則 氏

明けましておめでとうございます。旧年中はDAIKEN製品に対し格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。ここ数年、新型コロナウイルスのパンデミックに始まり、ロシアによるウクライナ侵攻、資源価格の高騰、世界的なインフレなど、事業環境は目まぐるしく変化し、2024年以降につきましても、この変化の波は止まることなく、さらに激しくなることが想定されます。まさに変化への対応力が問われる環境下、コスト増や住宅需要の低迷といった直面する課題への対応と並行して、新規用途開発や新たなビジネスモデルの構築など、先を見据えた取り組みを加速させることで、「住宅用建材メーカー」から「建築資材の総合企業」へと成長することを目指します。

成長戦略の遂行にあたっては、2022年度よりスタートした中期経営計画『GP25 3rd Stage』の基本方針に基づき、“循環型社会への貢献”と“ニューノーマル時代のユーザーニーズの充足”を軸に推進いたします。弊社は素材・建材といった製品の販売だけでなく、工事まで手掛けています。この特徴を最大限に活かし、住宅市場はもとより公共・商業建築分野もターゲットに、心地よさや安心感、快適性といった空間価値向上につながるソリューション提案を進めてまいります。

サステナビリティ・トランスフォーメーションを推進

“社会・地球環境のサステナビリティへの貢献”と“当社事業のサステナビリティ”との連動性を高め、好循環を形成するサステナビリティ・トランスフォーメーション(SX)を推進いたします。その一環として昨年は、木質由来の接着剤を用いた環境配慮型MDFの製造技術確立や、マレーシアの植林事業会社買収を実施しました。

SXを推進する上で、特に当社の強みを発揮できるテーマが「木質資源の活用によるカーボンニュートラルへの貢献」です。具体的には、インシュレーションボード、MDFの用途展開によるプラスチック形成材料及び天然木南洋材の代替需要獲得を進めてまいります。弊社は創業以来、木材を余すことなく使い尽くす技術を磨き、さまざまな機能を付与した素材・建材を開発してきました。その代表例が、建築解体木材などを主原料とするインシュレーションボードです。現在、畳床や養生ボードなどとして提供していますが、この製品が持つ優れた環境価値を切り口に、提案活動を強化するとともに、新規用途開発にも注力してまいります。

今年も引き続き、サステナブルで機能性豊かな素材をいくつも有する強みを活かし、お客様の期待を超える新たな価値を提供してまいります。



防音床材

マンションリノベーション用

意匠にこだわった

トリニティオトユカ45

リフォーム・リノベ専用 床暖房対応(144幅タイプ)

キノワを超える。ミライへ。

DAIKEN 大建工業株式会社 | 本社/〒530-8210大阪府北区中之島3丁目2番4号 (中之島フェスティバルタワーウエスト14F)